

第3回射水市庁舎跡地等検討委員会会議概要

日時 平成24年11月20日(火)午前10時から

場所 射水市役所小杉庁舎401会議室

出席委員 名簿順、敬称略

円満 隆平(金沢工業大学環境・建築学部建築学科教授)

鏡森 定信(小杉地区地域審議会)

盛光 文雄(新湊地区地域審議会)

長谷 能成(大門地区地域審議会)

杉本 繁機(大島地区地域審議会)

竹脇 寛(下地区地域審議会)

牧田 和樹(射水商工会議所会頭)

宮城 澄男(社会福祉法人射水市社会福祉協議会会長)

稲垣 三郎(射水市老人クラブ連合会会長)

山崎 京子(射水市母親クラブ連絡協議会会長)

村井 美和子(射水市PTA連絡協議会副会長)

欠席委員

長尾 治明(富山国際大学現代社会学部経営情報専攻教授)

串田 伸男(射水市商工会会長)

堀田 紀子(射水市婦人会会長)

徳永 勝久(社団法人射水青年会議所理事長)

菅本 昇(一般公募)

高田 麻実(一般公募)

市当局(事務局)

明神 栄(市長政策室次長)

一松 教進(政策推進課長)

松長 保(庁舎統合準備班長)

大森 昌祐(政策推進課主任)

角波 義彰(政策推進課主任)

坂井 春良(人事課行革推進係長)

佐野 泰寛(財政課資金調査係長)

1 委員長あいさつ

(委員長)

前回の会議で確認したとおり、本日より庁舎ごとに利活用の方向性を議論していただくこととなる。

各地域の特性なども踏まえながら、いろいろなアイデアを出していただきたい。

(司会)

各委員に送付した第2回会議概要について訂正等の申出がなければ、近日中に市ホームページで公開することとしたいがよろしいか。

(委員)

会議概要中、発言委員の名前を公開することについて、「意見交換」となっている部分は、少なくともどのような意見が出たのか記載していただきたい。皆さんが心配する氏名公開という難しさを認識する上でも今後へ繋がるものと思う。

(委員長)

出た意見を加えた上で公開することとしたい。

(司会)

修正内容は事前に委員長に確認していただいた上で公開することとしたい。

2 第2回会議のまとめ及び本日の資料説明

(事務局)

第2回会議のまとめについて確認

本日の配布資料について確認

3 協議項目

(新湊庁舎)

(委員)

協議に入る前に1点確認したい。保健センターは現在5つあると思うが統合等、一つにするということはあるのか。

(事務局)

将来的に統合の必要性はあるかと思うが、現段階で具体的には決まっていない。

(委員)

将来的に統合となっているのでよいか。

集約については分かる。必要なことである。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

新湊の保健センターも今後も使用していくのか。

(事務局)

そこまで協議はされていない。

(委員長)

協議にあたり、資料について事務局より説明をお願いしたい。

(事務局)

資料説明。

欠席委員から、新湊庁舎跡地の利活用についての意見をいただいているので紹介したい。

「一部を無料駐車場としてはどうか。理由として万葉線に移動手段としてだけでなく、乗ること自体を観光目的としたいと万葉線活性化計画にあったことから車を置けるスペースがあればよいのではないか。」

「周辺の食や景観などの資源もあることからの散策目的にも利用できるのではないか。」と意見をいただいた。

(委員)

資料7の4ページのこれまでの意見等はどのような方からの意見なのか。

(事務局)

これまで開催した基本構想検討委員会等で出た意見を集めたものである。

(委員長)

ここで少し意見交換の時間を取りたい、意見があればお願いしたい。

(委員)

地域審議会委員として出ており、去る10月に地域審議会の委員会があった。

地域の方がどう考えているか聞きたいと思っていたところ、商工会議所から具体的な提案が出ていたのでもう少し詳しく聞きたいと感じた。

ここに商工会議所会頭もおられることから内容についてお話し願いたい。

(委員)

新湊庁舎の跡地について商工会議所なりの意見をまとめさせていただいた。

一言で言ってしまうえば公共交通結節のためのターミナルの設置を要望したいということである。

人が集まるところと考えるとコンベンション、コミュニティ、もちろん地元の産品等を販売する店舗もあっても良いと思う。

本市の工業集積は北側の地域が非常に高い、東京や大阪に本社を持つ会社が進出しているが、その方々のためになる交通機関が本市にはない。

その方々の利便性を図ること等を考慮すると公共交通、できれば宿泊施設が必要ではないかと考えている。

隣に商工会議所、旧ハローワーク敷地があることから、この際一体的に開発することも視野に入れていただきたいということから提案をさせていただいた。これが新湊庁舎に関する商工会議所からの意見となる。

(委員)

その複合施設の管理運営は民間ではなく市が行うのか。

(委員)

市が管理する方法と第3セクター等の民間の団体が取得し、貸し付ける方法もあると思う。

(委員)

小杉駅周辺にも以前から宿泊施設を誘致したいと考えていたこともあるが、第一イン新湊の利用状況はどのようなものか。

(委員)

最近は空室も多く経営はかなり苦しい状況である。

(委員)

小杉は宿泊施設がない。新湊は交流センターというコアもあることからよいと思う。

(委員)

観光客も大勢来ており、県外の人も多数いるが、宿泊先である他市へ帰ってしまう方が多い。

(委員)

他市へ帰る観光客を射水市に留めたいと考えている。できれば、新湊庁舎の跡地にターミナル、その中に食を楽しめるものなどがあると良いのではないかと。

(委員)

新湊大橋もできたことから、新湊の海産物を活かしたまちづくりをしてはどうか。

(委員)

新湊の構造的な欠陥としてはコアとなるものがない。どこからでも入ってきてバラバラに活動することが欠点と思う。小杉には小杉駅というコアとなりうる場所がある。

地域の活性化を考えるのであれば、海王丸パークなどの単体の目的地だけでなく、1箇所に集まってそこから放射状に流れていくようなコアとなるものをぜひこの跡地に作っていただきたい。

他の委員の意見にもあった無料駐車場も1箇所に集まるコアということでは同じ発想ではないかと思う。

(委員)

外側から新湊を見ると東側に集中している。海王丸パークをはじめ工場など、西側は住宅の密集地であり、都市空間が必要な気がする。高齢者がのんびり過ごせ、曳山にも利用できる多目的な広場を作ってはどうか。防災の避難場所にも利用できる。

(委員)

防災面を考えると、海拔も高くないことから広場より建物を作り、必要ならその上に公園でも作ったほうがよいと思う。

(委員)

今後はより高齢者が増加すると思う。公共のスペースをうまく使うことをこの委員会で考えていかなければならないのではないかな。

今後は高齢者も単独世帯化していく。風呂場等での孤独死が増加しているのです。そのような人への対応も考えていかなければならないのではないかな。

コアとコアをどう連携させるかということを考えなければならぬ。新湊小杉間の交通の連携も大切ではないかな。

(委員)

新湊に高層建築物があまりないことから、階層のある複合的な建物が良いのではないかな。上階は憩いの場や高齢者がその建物に入居できるようなものでかつ災害時には避難でき、下の階は商業施設が良いのではないかな。

一方、観光地として曳山会館的なものを入れ、人を呼ぶための仕掛けも新湊に必要ではないかな。

(委員)

宿泊に関連し、スポーツ少年団等の合宿での宿泊施設が市内にはない。明日を担っていく子どもたちが安く泊まれる青少年の家等が市内にあっても良いのではないかな。

新湊は観光面等に優れているため、大人が泊まるにはある程度の料金を取ればよいが、子どもは安価に泊まれるものだと良いのではないかな。

(委員)

青少年施設の誘致を県にするなどの方法があるのではないかな。

(委員)

新湊には民宿がない。地域の海産物を食べさせるものが必要ではないかな。内川等の観光資源も豊富である。

(委員)

射北中ではヨットが盛んで全国でも優秀な成績を残している。

合同で合宿を行っても宿泊施設がバラバラになることから交流ができない。他の委員同様、宿泊できる施設があれば理想的だと感じた。

(委員)

子どもたちが射水の魅力を感じ、将来も来てくれるよう長期的に考えてはどうか。

(委員)

欠席委員の意見にもあった無料駐車場として活用することは非常に良い案だと思うが、地元住民の駐車場化しないよう、その辺の対策も考えなければならない。

面積も程々あることから、建物を壊し更地にしてからもう少し考えたほうが良いのではないか。海王丸から小杉駅まで路面電車も良い案とは思ふ。

(委員長)

公共交通ハブ機能の要望が強いが万葉線、バス会社の協力なくしては出来ないことである。施設自体を市で整備するものではないと思う。

コミュニティバスについても小杉、大門から新湊へのアクセスの強化も必要ではないか。

複合ビルについて、一般宿泊施設としての立地は大変難しいと思われる。

コンベンション、コミュニティ施設が一番難しく市場調査が大切であり、念入りにやらなければならない。中途半端なものでは利用されない。

スーパー、薬局等の商業サービス施設はいつでも来ると思われる。

宿泊機能については稼働率が全国的に見ると少子化の影響もあると思うが良くない。青少年の家も稼働率が低い。

市の温泉付きの施設を合宿所へ転用を図る事も考えられるのではないか。

他県の人からすると新湊は聞いたことがあるが何があるかわからない、というのが率直な印象である。氷見、富山、高岡はまだ知名度がある。

ヨット関連施設が有力な目玉になりそうな感じがする。特に青少年向けのスクールなど、日本海側にはマリナーがほとんどないが新湊はよく整備されている。

高齢者向け施設も難しい。制度がよく変わることもあり、現在は在宅介護が主で施設はあまり造らない方向にある。

軽い運動を兼ね気軽に寄ることができる施設があれば良いとは思ふ。

現在は新しい箱物を気軽に作るわけにもいかず、市が直営で運営することは困難な時代になっている。

(委員)

これは委員長としての発言ではなく委員としての意見と捉えてよいか。

(委員長)

委員としての発言でよい。方向性を絞るための一意見である。

(委員)

方向性を絞るということでこれまでの委員の意見を取りまとめていただいたということでのよいのではないか。

(委員)

耐震を新たにするととなると少なくともどれくらい掛かるものか。中身を替えず耐震のみでも。

(事務局)

耐震を行うのも様々な方式があるが、築年数もかなり経過しており、耐震のみ行うのではなく併せて大規模改修も必要になると考えられることから、新たに必要なものを建築するほうが安価になると考えられる。

学校の大規模改修で1㎡あたり20万円以上掛かっている。新湊庁舎は建物が古いこともあり、それ以上に費用が掛かるのではないかと考えられる。

大規模改修は建物の寿命を延ばすものではない。

(委員)

耐震のみをしてもそんなに長くもたないと思われる。

(委員)

市には行革、公共施設統廃合委員会を行っているが、この委員会の使命はある程度の方向性を示すことなので、ある程度中長期的なビジョンを考えることで良いのではないか。

もう一点はこれまでの庁舎の行政サービス機能をどこまで残すかが最大のポイントと思っている。個人的にコンパクトな本市には窓口施設は不要だと思っている。

(事務局)

窓口機能と庁舎跡地については切り離して考えていただきたい。

窓口機能については場所についても庁舎跡地とは限らず他施設での対応も検討している。

(委員)

窓口は気になる部分ではある。

個人的な意見であるが、コンパクトな市ではあるがやはり高齢化が進んでいくことから、全てを中心に集約するのは良くない。

富山市のような各センターで決裁ができるようなものが良いと思うが、そこまでの

機能は置かず、ある程度の集約を行い、一人の職員が何でも出来るようにしてコンパクトなものにすればよいのではないか。そして中心に本庁舎がある形が望ましい。

(事務局)

窓口サービスは残すがサービスを提供する場所等は変わるかもしれない。

(委員)

窓口を残すのは一番難しいところであり、様々なやり方がある。過去の町村合併でも経験してきているが、オールマイティな職員はほとんどいないことから、相談等では本庁に行かなければならなくなる。

(委員)

窓口を残すなら証明発行のみではなく、相談業務ができるものでなければ意味がないと思う。

(委員)

国自体の税収が落ち込んでいることから、国の助成も出来るだけあてにしないよう検討したほうが良いのではないか。

交通ターミナルや駐車場等は良い案と思う。宿泊施設は採算面から見ても難しいと思うことから、2000年国体で行った民泊等のようなソフト面でも考えたほうが良いのではないか。

コンベンションホール等も中途半端なものを作るのはどうかと思う。

作るばかりでは経費が嵩んでしまうことから、使い方を工夫していく必要があるのではないか。

(委員)

希望を持った委員会にしたいので、できる、できないは行政が考えれば良いのではないか。

(委員)

個人的な意見であるが、これからの拠点を設けるにあたり、これまでの5市町村の枠組みにとらわれる必要はないと思う。地域包括支援センターが良い例ではないか。

(委員)

私も賛成である。新湊、小杉と言わず北部、中部などの表現で良いのではないか。

そのような呼び方にしていすべきではないか。

(事務局)

交通ターミナルについては良い案と思う。路線バスも走っているが本数も減り、廃止の方向に向っていることから、高速バス、季節的な定期バスも含めたターミナルとなればもっと生きるのではないか。

(委員)

並行在来線とバスターミナルを繋ぐ必要があると思う。

商工会議所からも万葉線の延伸を要望している。北部エリアのコアと並行在来線を繋ぐことが重要である。

(事務局)

コミュニティバスのターミナルは現在なく、市民病院がその機能を担っている程度である。コミュニティバスのターミナルがあればもっと利便性が高くなるのではないか。

(委員長)

市の交通政策との関連の整理を事務局にお願いしたい。

(事務局)

公共交通のプランは北陸新幹線の開業に併せ、現在見直しているところである。

(委員長)

分かった。

本日の一つの合意点としては、大きな意見として夢もあり、あまり現実に縛られずかつ、現実からかけ離れない方向に持っていくということとなるのではないか。

今後検討していく他地区にも共通することとなる。

(委員)

これからのサービスはこれまでの地区割に拘らずやってほしい。

(委員長)

新湊地区は概ねこのようなところでよいか。本日欠席委員もいる事から、新湊地区の意見も後日あれば随時いただきたい。

(事務局)

本日いただいた意見を事務局で一度まとめさせていただきたい。

(委員)

個々に固めていかず最終的に全体を固めるということによいのではないか。

(委員長)

事務局でまとめたものを前回会議の確認で見ただけであれば良いのではないか。

次回は、1月下旬あたりで下、大門庁舎を中心に議論を行いたい。その他何かご意見はないか。なければ本日の議長の役を終えたい。

(司会)

1月下旬を目途に委員長と日程を調整し、開催日を決定したい。

それではこれをもって本日の第3回射水市庁舎跡地等検討委員会を終了させていただく。

閉会 午前11時55分